

2015年度 活動報告書

2016.05.31/02

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室

代表理事 和田 隆 博

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂4-5-1

TEL 06-6698-4351 FAX 06-6698-4352

MAIL info@c0d0e.com URL c0d0e.com

皆さま、こんにちは。2015年度の活動報告をさせていただきます。今年もたくさんの方に支えられてきました。あの方、この方、お一人お一人の顔が目浮かびます。この1年も親と暮らせない子どもたちの未来を照らすランプになれるよう、創造し、努力し、発信することを続けて参りました。いつも子どもたちにいっています。諦めない限り夢は叶うと。皆さま、本当にありがとうございます。そして、これからもなお一層のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 子どもデザイン教室
代表理事 和田 隆博

目 次

学習支援：子どもデザイン教室事業の活動概要と活動報告	04
自立支援：子どもデザイン基金事業の活動概要と活動報告	11
養育支援：子どもサポートホーム事業の活動概要と活動報告（個人事業）	16
2015年度 決算報告書	18

*文中敬称を略させていただきます。あしからずご了承ください。

学習支援：子どもデザイン教室事業の活動概要

●レッスンの主旨

このレッスンの主旨は、1年間かけて「ゆるキャラグッズを作り、売る」というものです。その目的は、①働くイメージを高めるために、モノ・サービスを作り、売り、利益を得るという社会の基本を学ぶこと。②自己肯定感を高めるために、できる自分に出会うこと。③将来の困難にも立ち向かえるよう、創造力、努力、対話力を育てることの3点です。まるで遊ぶかのようなレッスンを通して、自ら学ぼうとする力、今日より明日をよくしようとする力、つまり、生きる力を育てています。私たちは、生きる力という消えない炎を子どもの心に灯したい、そんな想いでこの1年のレッスンを続けました。

- 児童養護施設委託児童23人（受講料無料）
- 一般家庭児童23人（受講料有料）
- 合計46人

学習支援：子どもデザイン教室事業の活動報告

●4月のレッスン「キャラクターをデザインしよう」をしました。

子どもデザイン教室の2015年度。1週目はキャラクターの創案を作りました。キャラクターは自分の映し鏡でもあります。明るいキャラ、暗いキャラ、個性的なキャラが続々と出来上がっていききました。2週目はキャラクターの世界を広げるレッスンでした。子どもたちはどんどん奇想天外な物語が作り始めました。3週目は出来上がった構想を元に文章を書き、その文章を元に絵を描くレッスンをしました。レッスンの最後に皆で出来上がりを披露しました。4週目、発言する習慣が少しずつですが、定着してきました。最終日にイラストレータというプロ用のソフトで着色作業をしました。また、同時進行で前週の絵を完成させました。未着色がないように一生懸命塗りました。最後に完成した絵と文章の発表会をしました。これから1年間の長丁場、年度末の3月27日の商品展示販売会に向けて、ドキドキのレッスンが始まりました。

- 火曜日=7日・14日・21日・28日 ①16：15～17：15・②17：30～18：30
- 木曜日=2日・9日・16日・23日 ①16：30～17：30
- 土曜日=4日・11日・18日・25日 ① 9：45～10：45・②11：00～12：00
- ③17：00～18：00

- 延べ108人参加・満足度79%
- (回答者延べ86人中、70点以上と応えた子ども68人)

●5月のレッスン「ピンバッジをデザインしよう」をしました。

5月はピンバッジを作りました。実用的なアクセサリーになるピンバッジは、子どもたちにも好評でした。1週目はバッジのラベル（台紙）をデザインし、バッジの試作品を油粘土で作りました。2週目はラベルのデザイン案を薄紙に清書し、コンピュータに入力しました。同時に試作品作りの続きもしました。3週目はラベルをコンピュータで着色しました。さらに、陶器粘土による本制作をしました。4週目は焼き上がったバッジにピンを貼り付け、印刷したラベルと共に袋詰めしました。完成後は皆で発表会をしました。出来上がりを想像する、最後まで努力する、買って貰える商品を作る、意見をいう、時間を守る、こうした目的をもってレッスンを進めました。

(回答者延べ100人中、満足度70%以上と答えた子ども85人)

●9月のレッスン「絵本をデザインしよう」をしました。

9月は絵本をデザインしました。8月につくった双六ボードゲームを元に、曜日ごとに共同作業で1冊の絵本を作りました。1週目は絵本の構成を考え、誰がどのページを担当し、どんなストーリーにし、どんな絵と文章にするのかを話し合いました。2週目は鉛筆で物語の場面とお話を書きました。3週目はコンピュータでそのシーンの着色や文字入力をしました。4週目は印刷した絵本を製本しました。話すことが多い今回のレッスンは恥ずかしがり屋の子どもたちには大変な作業ですが、頑張って構成力と対話力を学びました。

- 火曜日=1日・8日・15日・29日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=3日・10日・17日・24日 ①16:30~17:30・②17:45~18:45
- 土曜日=5日・12日・19日・26日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00・
③17:00~18:00

○延べ126人参加・満足度83%

(回答者延べ123人中、満足度70%以上と答えた子ども102人)

●10月のレッスン「お人形をデザインしよう」をしました。

10月はアクリル手芸糸を針で差して、お人形を作りました。危険な作業なので、安全に十分配慮してレッスンをしました。1週目は行程を設計図に描き、針刺しの練習をしました。2週目は原型を作り、3週目に目や口を仕上げで完成しました。早くできた子は4週目にミニチュア版の人形を作りました。お人形作りは創造力と設計力、集中力が必要です。お人形作りを通して造形技能を高め、達成感を味わい、自尊感情の向上やメンタルケアに役立てました。苦勞の多い反面、高い満足度が得られました。

- 火曜日=5日⑨・13日・20日・27日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=1日・8日・15日・29日 ①16:30~17:30・②17:45~18:45
- 土曜日=3日・10日・24日・31日 ①9:45~10:45・②11:00~12:00
- 土曜日=3日・10日・17日・24日 ①17:00~18:00

○延べ144人参加・満足度90%

(回答者延べ177人中、満足度70%以上と答えた子ども159人)

●11月のレッスン「エンブレムをデザインしよう」をしました。

11月は予定を変更し、東京2020大会エンブレムのデザインをしました。コンペの応募条件は、おとなと一緒にあれば子どもでも参加できるというものでした。そこで東京2020大会というお祭りを皆で楽しみたい、そんな思いで参加しました。始める前、子どもたちは「どうせ無理」と言っていました。私もそう思いました。でも、やってみなければ分かりません。デザインをする内に「二次審査、三次審査には残りたい。もしかして入賞できるのでは？」そんな気になってきました。子どもたちも同じでした。当選インタビューの練習をする子、開会式の出席を夢見る子、賞金で買うものをあれこれ算段する子、微笑ましい光景が見られました。努力すれば何かが変わる、それが大事だと思いました。希望がもてるって素晴らしいです。そんな意味で子どもたちはたくさんのお話を学びました。こうした機会を裏方でバックアップしてくださったボランティアの皆様から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

- 火曜日=2日⑨・10日・17日・24日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=5日・12日・19日・26日 ①16:30~17:30・②17:45~18:45

○土曜日=3日・10日・24日・31日 ① 9:45~10:45・②11:00~12:00

○土曜日=7日・14日・21日・28日 ①17:00~18:00

○延べ144人参加・満足度89%

(回答者延べ119人中、満足度70%以上と答えた子ども106人)

●12月のレッスン「ポスターをデザインしよう」をしました。

今期のレッスンも残すところ、あと4カ月となりました。そこで商品展示販売会のお店（展示台）の開店を告知するポスターを作りました。1週目は11月のレッスンの振り返りや今までやり残したレッスンの仕上げをしました。2週目はポスターの下描きと、クリスマス会の準備をしました。3週目はポスターの下描き作業と、クリスマスウィークということでポップコーン作りをしました。4週目はコンピュータでポスターの着色作業をしました。

○火曜日=1日・8日・15日・22日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○木曜日=3日・10日・17日・24日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○土曜日=5日・12日・19日・26日 ① 9:45~10:45・②11:00~12:00・

③17:00~18:00

○延べ153人参加・満足度73%

(回答者延べ82人中、満足度70%以上と答えた子ども60人)

●1月のレッスン「お店をデザインしよう」をしました。

1月はお店作りをしました。第1週はやり残している人形のラベルつけをしました。低学年の子は新年の決意を絵と文字で描きました。第2週は先月デザインしたポスターをパネルに仕上げました。残った時間はお店の土台を作り、商品の配置を決めました。第3週は展示台やプライスカードを作りました。第4週は再びピンバッジやお人形を作りました。自分の商品だけでなく、他の子の商品も作りました。助け合いながら作ることの大切さを学びました。

○火曜日=5日・12日・19日・26日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○木曜日=7日・14日・21日・28日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○土曜日=9日・16日・23日・30日 ① 9:45~10:45・②11:00~12:00・

③17:00~18:00

○延べ147人参加・満足度92%

(回答者延べ133人中、満足度70%以上と答えた子ども122人)

●2月のレッスン「CMをデザインしよう」をしました。

2月の課題は「CMをデザインしよう」でした。1・2週目は商品点数の少ない子のピンバッジやお人形を皆で協力して作りました。3・4週目は商品展示販売会に向けて、コンピュータでビデオCMを作りました。CM作りを通して、頑張ったこの1年間を振り返りました。3月は各自の展示台（ショーケース）を完成させ、販売のシミュレーションをしました。27日(土)は阪急百貨店のCSRや販売員の方をお招きして子ども向けの販売セミナーを開催しました。

○火曜日=2日・9日・16日・23日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○木曜日=4日・11日・18日・25日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30

○土曜日=6日・13日・20日・27日 ① 9:45~10:45・②11:00~12:00・

③17:00~18:00

○延べ142人参加・満足度92%

(回答者延べ106人中、満足度70%以上と答えた子ども97人)

●3月のレッスン「商品展示販売会をしよう」をしました。

いよいよこの1年の締めくくり、商品展示販売会を開催する月となりました。1・2週目はPCでCM作りをし、3週目は葉書、シール、エンブレム、値札などの印刷をしました。4週目は当日の販売シミュレーションをしました。

- 火曜日=1日・8日・15日・22日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 木曜日=3日・10日・17日・24日 ①16:15~17:15・②17:30~18:30
- 土曜日=5日・12日・19日・26日 ① 9:45~10:45・②11:00~12:00・
③17:00~18:00

○延べ141人参加・満足度85%

(回答者延べ136人中、満足度70%以上と答えた子ども116人)

○年間延べ1,565人参加・総合満足度84%

※③のレッスンは今期をもって終了としました。

●「こどキャラ教室」を開催しました。

毎月第3土曜日に開催のこどキャラ教室は、児童養護施設・里親委託の子どもたちと、デザイン教育研究所の学生との協働レッスンです。子どもたちの「もうしんどい、めんどう、もういや！」を「できた！見てみてっ！楽しかった～！次が楽しみ♡」に変える、そんなレッスンを開催しました。レッスン内容は通常のレッスンのダイジェスト版です。創造力と努力を要するレッスンですが、2時間の葛藤を乗り越えて、素敵な商品が出来上がっていきました。また、企業からご依頼頂いたキャラクターやイラストを作り、その収益金を親と暮らせない子どもたちの自立資金や学習資金にするレッスンも同時に開催しました。こどキャラ教室は、一人でも多くの親と暮らせない子どもたちに参加してほしいレッスンです。2012年度から始まったこのこどキャラ教室、お陰様で徐々にご賛同くださる児童養護施設関係の方が増えています。2016年度も引き続きレッスンを開催します。この共感の輪をさらに広げていきます。

- 4月18日(土) 13:00~15:00
- 5月16日(土) 13:00~15:00
- 6月13日(土) 13:00~15:00
- 7月18日(土) 13:00~15:00
- 8月8日(土) 13:00~15:00
- 9月19日(土) 13:00~15:00
- 10月17日(土) 13:00~15:00
- 11月21日(土) 13:00~15:00
- 12月19日(土) 13:00~15:00
- 1月16日(土) 13:00~15:00
- 2月27日(土) 11:00~15:00
- 3月19日(土) 13:00~15:00
- 年間延べ74人参加 (すべて児童養護施設・里親委託児童) ・満足度86%

●「おとなデザイン教室」を開催しました。

毎週金曜日は、おとなデザイン教室を開催しました。絵本を作る人、人形を作る人、イラストを描く人、それぞれの課題に取り組むフリーレッスンです。暖かなお喋りの空間であると同時に、完成までしっかりとサポートしていきました。

- 4月3日(金)・10日(木)・17日(金)・24日(金) 19:00~20:00
- 5月1日(金)・8日(木)・15日(金)・22日(金) 19:00~20:00
- 6月5日(金)・12日(金)・19日(金)・27日(金) 19:00~20:00
- 7月3日(金)・10日(金)・17日(金)・24日(金) 19:00~20:00
- 8月7日(金)・14日(金)・28日(金) 19:00~20:00 (28日(金)のみ21:00まで)
- 9月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金) 19:00~20:00
- 10月2日(金)・9日(金)・16日(金)・23日(金) 19:00~20:00
- 11月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金) 19:00~20:00
- 12月4日(金)・11日(金)・21日(月)・25日(金) 19:00~20:00
- 1月8日(金)・15日(金)・22日(月)・29日(金) 19:00~20:00
- 2月5日(金)・12日(金)・19日(金)・26日(金) 19:00~20:00
- 3月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金) 19:00~20:00
- 年間延べ100人参加

●児童養護施設 常照園のバザーに参加しました。

吹田市の児童養護施設 常照園で開催されるバザーに似顔絵ボランティアで参加しました。毎年ご好評のこのイベント、今年も大阪市立デザイン教育研究所の協力を得ての参加でした。おいしい屋台フーズやお菓子、ゲーム、コンサートと楽しいイベントになりました。

- 11月8日(日) 10:00~15:00
- 大阪西本願寺 常照園

●恒例のクリスマス会を開催しました。

子どもたちが毎年楽しみにしているクリスマス会を開催しました。今年、子どもデザイン教室を支えてくださった賛助会員(キッズサポーター)の皆様、ボランティアの皆様と共に楽しいひとときを過ごしました。さらにたくさんの方々からお菓子やプレゼントのご寄贈品を頂きました。ゲームをして、お弁当を食べて、デコレーションケーキコンテスト、ビンゴゲーム大会、大盛り上がりの1日でした。

- 12月13日(日) 10:00~15:00
- 南田辺会館 老人憩いの家2F

●「未来っこカーニバル」に参加しました。

大阪府下の児童養護施設の子どもたちが一堂に会するビッグイベント、未来っこカーニバルに大阪市立デザイン教育研究所の学生や、ボランティアの方と共に似顔絵ボランティアで参加しました。

- 12月23日(水) 10:00~16:00
- なみはや東和薬品RACTABドーム(旧名 なみはやドーム)

●第2回「商品展示販売会」を開催しました。

3月27日(日)大阪市営南田辺住宅集会所で、子どもデザイン教室の「商品展示販売会」を開催しました。これはゆるキャラグッズを子どもたちが販売し、自分のお小遣いにしようという催しです。

商品は子どもたちが1年かけて作ったピンバッジや人形などです。この企画の狙いは、子どもたちの「生きる力」を育てることです。子ども、とりわけ様々な事情で親と暮らせない子どもたちにとって、自ら頑張ろうと思う力は大切です。子どもたちは1年のレッスンで、創造すること、努力すること、対話することを学びました。「しんどい、もういや、もう無理、、、」が「できた！見て見て！楽しかった～」に変わっていきました。そんな子どもたちの頑張りが形になったのが、このゆるキャラグッズでした。子どもたちと買う人のことを考え、動画CMも作りました。子どものバザーだからといい加減なことはしませんでした。おとながマジにならないといけません。そこで阪急百貨店さんに販売指導を受けました。広報はマスコミ各社にお願いしました。その結果、当日は押すな押すなの大盛況。多数の方にご来場頂きました。当日の様子はNHKのお昼のニュースにも取り上げられました。売上は子どもたちのお小遣いにしました。何より子どもたちは他では得ることのできない経験をしました。商品展示販売会開催にあたってご尽力頂いたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。

- 3月27日㊤ 10:00～15:00 (12:00～13:00休憩)
- 大阪市営住宅 南田辺集会所 (大阪市東住吉区南田辺5-20-15)
- 売上179,500円から当日臨時支出6,000円を差し引き、当日参加4,000円 (38人)、不参加2,000円 (8人)・1,000円 (1人) を子どもたちに分配しました。保護者の方からは領収書を頂きました。受取辞退分と残額端数合わせて5,500円をおやつ代として次年度に繰り越しました。

●5月、2014年度の子どもたちの作品をホームページで公開しました。

これまでに子どもたちが制作した作品をホームページで公開しました。プライバシーに関わる作品は、パスワードの入力が必要です。関係者にのみ公開していますので、関係者の方はお問い合わせください。

●インターンシップ・勉強会

- 7月18日㊥～26日㊤ 4日間、大阪成蹊大学のインターンシップを受け入れました。
- 8月4日㊥～29日㊥ 7日間、大阪成蹊大学のインターンシップを受け入れました。
- 8月7日㊤ 福知山市立小学校教頭会と勉強会をしました。
- 9月3日㊥～17日㊥ 4日間、大阪成蹊大学のインターンシップを受け入れました。
- 10月26日㊤ 大阪府立大学 伊藤嘉余子先生のゼミ生が視察に来られました。

●その他の活動報告

- 7月7日㊥ 内閣府「子どもの未来応援国民運動」のマークコンペに応募しました。
- 10月25日㊤ 子どもたちと信楽のそば処山久さんへ行きました。
- 2月27日㊥ 阪急百貨店をお招きして子どもたちに販売セミナーを開催しました。
- 3月29日㊥ 大阪ガスの児童養護施設向け子どもクッキング教室に参加しました。

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動概要

子どもデザイン基金事業は、親と暮らせない子どもたちの自立資金と学習資金を創出する支援事業です。これは子どもデザイン教室のレッスンから生まれてくるキャラクターを商品化し、企業に販売するというものです。こうして生まれた商品を「こどキャラ」ブランドと呼称し、その利益を親と暮らせない子どもたちに還元するユニークなビジネスモデルです。利益の25%を親と暮らせない子どもたちの学習資金として子どもたちの銀行口座に貯金し、残りの75%を親と暮らせない子どもたちのレッスン費用に充当します。企業が収益を上げながら1人の子どもを継続的に支援するという、これまでにない福祉モデルです。また、子どもデザイン基金事業のもう一つの柱は、寄付金や助成金、寄贈品などを広く皆様のお願ひするファンドレイジング活動です。このため2カ月に1回、子どもデザイン教室の活動説明会（こどカフェ）を開催し、賛助会員（キッズサポーター）の募集をしています。ほかにも各助成団体の公募助成の申請や寄贈品のお願ひをしています。本年度は特に「こどキャラ」のシステムの構築をめざしました。また、SNSや活動説明会（こどカフェ）などを通じて多くの人と出会うことから始めました。そして、児童養護問題を啓発し、ご寄付やご寄贈に繋がりたいと考えました。

自立支援：子どもデザイン基金事業の活動報告

こどキャラ部門

○実績	収益	705,185円（計画800,000円・達成率88%）
	自立資金（6人）	151,800円（計画200,000円・達成率76%）
		*自立資金は収益から経費を支出した利益の25%を充当しました。
	その他	123,856円
	合計	980,841円

●7月24日㊦、大阪ガスのパンフレット「CSRレポート」のイラストを納品しました。

●大阪ガス「小さな灯運動」新キャラクターの選考会をしました。

8月5日㊧、大阪ガスの創業110周年を記念して同社の社会貢献事業である「小さな灯運動」の新キャラクターマークの選考会をしました。300点近いアイデアをだしてくれたのは京阪神の児童養護施設の子どもたちです。私が選んだ6案のなかから社員の皆様の投票で見事に栄冠を射止めたのは「ほむテン」という蒼い炎のキャラクターでした。これから何十年も大阪ガスの社会貢献活動のマスコットとして活躍し、愛されることでしょう。

●1月16日㊨、NPO法人きぼうの家にこどキャラ「サニーチャイルド」を納品しました。

●LINEスタンプ「あっちゃん」が発売されました。

子どもデザイン教室のラインスタンプ「あっちゃん」が発売されました。売上はすべて親と暮らせない子どもたちの学習資金にします。お値段は150円、ご家族やお友だちへのプレゼントにぜひご利用ください。

●煎茶「小町特上」が楽天市場で発売されました。

子どもデザイン教室仕様の煎茶「小町特上」が楽天市場で発売されました。親と暮らせない子どもたちが描いたかわいいパッケージに、国産京宇治の煎茶が100g入って1,080円（送料別）です。製造・販売はイーサポート株式会社です。

●「不思議忍者 高機能パンツ」が販売されました。

児童養護施設で暮らす小学校4年生と中学校1年生が描いたキャラクターがかわいいパッケージの「不思議忍者 高機能パンツ」として発売されました。現在は販売が終了しています。

●こどキャラソース「超激辛ソース」が販売中です。

○製造・販売：株式会社風の街 <http://www.kazenomachi.com>

●こどキャラおそば「山久のざるそば」が販売中です。

○製造・販売：そば処山久 <http://tabelog.com/shiga/A2502/A250202/25007485/>

ご寄付・助成金・ご寄贈部門

①寄付金

○実績 寄付金 1,810,740円（計画978,000円・達成率185%）

賛助会員 111人（計画87人・達成率128%）

○内訳 個人寄付 721,600円

*単発寄付者100人、継続寄付者11人

法人・団体寄付 1,076,080円（4社・3団体）

*イーサポート株式会社、大阪市立扇町総合高校学生 有志、大阪イブニングロータリークラブ（iPad Air 2台）、大阪ガス株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社阪急阪神百貨店、福知山市立中学校教頭会 有志

その他 13,060円

②寄贈品

○実績 金額換算406,898円相当（計画300,000円・達成率136%）

○内訳 大阪ガス株式会社、大阪NPOセンター、テックスーブジャパン、ふーどばんく OSAKA、個人による寄贈

●活動説明会「こどカフェ」を開催しました。

子どもデザイン教室の活動を多くの方に知って頂くための活動説明会をしました。子どもデザイン教室で学ぶと子どもたちの何がどう変わるのか？についてお話させて頂きました。そして、親と暮らせない子どもたちが継続的にレッスンを受けられるようにご支援くださる応援団として、賛助会員（キッズサポーター）について説明しました。

○寄付金111,000円（計画180,000円・達成率62%）

*金額は上記寄付金に含まれています。

○参加者16人（計画36人・達成率44%）

①親と暮らせない子どもたちの今を知るセミナー+おとなデザイン教室ワークショップ

○4月22日② 10:00~12:00

②こどカフェ

- 5月24日㊥ 10：00～12：00
- 7月26日㊥ 10：00～12：00
- 9月27日㊥ 10：00～12：00
- 11月29日㊥ 10：00～12：00
- 1月24日㊥ 10：00～12：00

●大阪ガス「癒やしの音楽」でご寄付を頂きました。

大阪ガスグループ小さな灯運動の主催で、癒やしの音楽（クラシックコンサート）が大阪ガス本社ビルの3Fホールで開催されました。この小さな灯運動の癒しの音楽は、地域の皆様に心安らく時間を持って頂くことを目的に開催しているチャリティ音楽会です。この席で子どもデザイン教室の活動紹介させて頂き、募金活動をして頂きました。子どもデザイン教室のために多くの方から毎回貴重なご寄付を頂きました。

- 第58回 癒やしの音楽「高曲伸和&テレマン アンサンブルJr. バロックへのいざない」
- 4月6日㊤ 17：45開場・18：30開演

- 第59回 癒しの音楽「オーボエ・ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ四重奏団のリサイタル」
- 5月12日㊤ 17：45開場・18：30開演

- 第60回 癒しの音楽「清木ナツキフルートコンサート」
- 9月17日㊤ 17：45開場・18：30開演

- 第61回 癒しの音楽「埴美里クリスマスコンサート」
- 12月18日㊤ 17：45開場・18：30開演

- 第62回 癒しの音楽「五感で楽しむコンサート吉田文子ファゴットリサイタル」
- 2月25日㊤ 17：45開場・18：30開演

●大阪ガス「Social Design+」にご協力ありがとうございました。

大阪ガスのホームページ「Social Design+」は、5,000人の方が「子どもデザイン教室を応援する」ボタンをクリックすると、大阪ガスさんから子どもデザイン教室に50万円のご寄付が頂けるユニーク社会貢献プログラムです。今回、ありがたいことに5,007人の方に応援を頂き、見事50万円のご寄付を頂けることになりました。このお金はすべて親と暮らせない子どもたちの学習支援資金に充当しました。なお、贈呈式は8月18日㊤、大阪ガス本社にて開催して頂きました。

●阪急百貨店「サタデーサンタ」で活動紹介をしました。

阪急百貨店のチャリティーイベント「サタデーサンタ」で子どもデザイン教室の活動紹介とミニデザイン教室を開催しました。

- 5月2日㊥・8日㊥ ①13：00～13：30・②16：00～16：30
- 阪急うめだ本店 9F祝祭広場

●阪急百貨店「NPOフェスティバル」に参加しました。

阪急百貨店うめだ本店で開催の「NPOフェスティバル」に参加しました。7月25日㊥には大阪市立扇町総合高校の吹奏楽部オーギーズによる応援ミニコンサートがありました。

○7月22日(水)～27日(月)

○阪急うめだ本店 9F祝祭広場

●自動継続の寄付システムがスタートしました。

ご支援者の皆様が、わざわざお振り込み頂く手間を省いたシステムがスタートしました。クレジットカードと銀行引き落としの2種類からお選び頂けます。

●たった4回のクリックで、100円からのご寄付が可能になりました。

携帯電話から簡単にご寄付が頂ける「かざして募金」の寄付先に、子どもデザイン教室が追加されました。ソフトバンクご利用の方なら、携帯電話料金のお支払いと一緒に募金することができます。auやdocomoの方は、クレジットカードでご寄付頂けるようになりました。

●3月31日(木)、大阪市市民活動推進助成事業に採択されました(次年度事業)。

広報・講演部門

- 4月1日(水) 大阪市ボランティア・市民活動センターの情報誌に掲載されました。
- 4月5日(日) 3/21(土)ラジオFM西東京出演の内容が「日刊読むラジオ」に掲載されました。
- 5月27日(水) 日経流通新聞に「こどキャラ 不思議忍者」が掲載されました。
- 8月19日(水) 大阪NPOセンターのホームページ「おおさかCB情報局」に掲載されました。
- 9月3日(木) イブニングロータリークラブで講演しました。
- 10月6日(火) 東京の武蔵大学で講演会をしました。
- 10月18日(日) 中之島公会堂のFM802「UNKNOWN ASIA」でお話しました。
- 10月21日(水) 大阪市総合生涯学習センター「いちようカレッジ」でお話しました。
- 11月13日(金) 東住吉区社会福祉協議会のセミナーでお話しました。
- 1月19日(火) 大阪城南女子短期大学で講義をしました。
- 3月16日(水) WebマガジンGreenzの企画で副島賢和さんと対談しました。
- 3月31日(木) 大阪ガスPR誌「近畿をソーシャルデザインする」に掲載されました。
- 3月31日(木) 「月刊福祉」3月号に掲載されました。

●「大阪勸業展」に出展しました。

大阪府下の中小企業が一堂に会するビジネスショーに出展し、児童養護施設の子どもたちと創ったゆるキャラ「こどキャラ」の販売促進をしました。

○10月21日(水) 10:00～17:00・22日(木) 9:30～16:00

○マイドーム大阪 1F展示ホール

●なんでもアリーナでシンポジウムに参加しました。

シンポジウム「親とくらせないこどもたちの今」に登壇しました。児童養護問題をデザインで解決しようとする私たちの取り組みをお話しました。

○11月8日(日) 13:00～16:00

○関西テレビ 1Fなんでもアリーナ

○主催：大阪市里親会・大阪市・関西テレビ

●レッスン「東京2020大会エンブレムをデザインしよう」が新聞・テレビで放送されました。

①新聞掲載

- 11月19日(木) 日本経済新聞 夕刊社会面
- 11月25日(水) 朝日新聞 朝刊社会面
- 11月25日(水) 東京新聞はじめ全国の地方紙

②テレビ放送

- 11月24日(火) TBSテレビ「朝チャン」
- 11月24日(火) 日本テレビ「NEWS EVERY」
- 11月24日(火) TBSテレビ「NEWS23」
- 11月25日(水) フジテレビ「めざましテレビ」
- 12月3日(木) NHK総合テレビ「あさイチ」

●「商品展示販売会」の様子が新聞・テレビで放送されました。

①新聞掲載

- 2月17日(水)・18日(木)・19日(金) 読売新聞 夕刊社会面
- 3月24日(木) 読売新聞 夕刊社会面

②テレビ放送

- 2月20日(金) JCOM「関西TODAY」
- 3月5日(土) NHK「ニュースホッと関西」
- 3月27日(日) NHK「お昼のニュース」
- 3月30日(水) NHK「おはよう関西」

③ラジオ放送

- 3月23日(水) FM COCOLO「mamiko's view」

管理部門

●理事会を開催しました。

今年度から理事が新しくなりました。全員男性スタッフですが「男だってこんな子育てはできる」というところを社会に示していく心構えです。また、本年度から子どもデザイン教室の正会員も新しくなりました。メンバーは和田隆博、林田全弘、北村政記、西井廉剛、小松裕次朗、今中博之、山本悦二、大田香織、井上翔一、久保晶の10名です。改めてよろしくお願ひ申し上げます。

- 5月24日(日)、○6月28日(日)、○8月1日(土)、○9月1日(火)、○9月29日(火)、○11月1日(日)、○11月29日(日)、○12月20日(日)、○1月30日(日)、○3月7日(月)、○4月2日(月)

●その他のご報告

- 5月22日(金) 平成24年度の法人税申告をしました。
- 5月29日(金) 平成25年度総会を開催しました。
- 6月5日(金) 大阪法務局に財産目録を登記しました。
- 7月3日(金) 大阪市市民局に平成26年度事業報告書・平成27年度活動計算書を提出しました
- 7月4日(土) 平成26年度活動報告書と平成27年度活動計画書を公開しました。

養育支援：子どもサポートホーム事業の活動概要（個人事業）

子どもサポートホームは親と暮らせない子どもたちを養育里親として育てる養育支援事業です。この事業のコンセプトは、①社会的養護の実践、②養育技術の研究、③新しい家族の形の提言、の3点です。先の学習支援にしる、自立支援にしる、子どもたちの根源的な問題を解決する手段ではありません。子どもは愛されたいと願う生きものです。そんな子どもの願いは、同じ屋根の下で共にごはんを食べ、共に寝て、苦楽を共にして初めて満たされるものです。このため子どもデザイン教室では代表理事の個人事業として、養育里親をしています。

養育支援：子どもサポートホーム事業の活動報告（個人事業）

●2人目の子どもとの暮らしが始まりました。

3月23日、一番下に子どもがやってきました。これで私たち夫婦、実子、高校生の里子と、この中学生の里子の5人家族の暮らしが始まりました。里子と私たち夫婦は水の関係です。しかし、夫婦もそもそも水の関係です。実子にしても半分は水の関係です。この水を血よりも濃くするものは何でしょう？それは一緒に暮らすことです。ケンカしたり、怒ったりしながら、それでも一緒に暮らすことです。そんな風に何とか一緒になろうとする家族があっていいと思います。無縁社会と呼ばれるこの現代。しかし、子どもは社会で育てるものです。生まれた環境や親の収入によって、子どもの人生が左右されてはいけません。私の試みは新しい家族づくりへの挑戦です。そんな想いでこの1年が始まりました。

●ファミリーホーム設立に着手しました。

2007年の設立当初から、子どもデザイン教室のゴールはファミリーホームの設立でした。これは、数時間のレッスンでは親と暮らせない子どもたちの愛されたいという根源的なニーズを満たすことはできない、その想いが原点でした。ファミリーホームとは、5～6人の親と暮らせない子どもたちと3人以上のおとなが、家庭環境の中で生活を共にする小規模な児童養護事業です。そこで、2015年度の活動テーマをファミリーホーム設立計画とし、2017年度にその設立をめざすことにしました。

●ファミリーホームの全体計画を作成しました。

2017年度のファミリーホーム設立をめざして、全体計画を作成しました。設立に至るまでに現状の仕事の何を辞め、何を始めなければいけないのか？そして、スタッフィングや住宅選び、関係機関、関係者との調整、設立前、設立後の収支計画もシミュレーションしました。

●ファミリーホームの設立をめざしました。

運営面を考えると、我が家においてファミリーホームの経営はなかなか厳しいことが分かってきました。ファミリーホームのスタッフィングは重要です。想いを同じ人だけが集まらないと、ファミリーホームはすぐに頓挫してしまいます。そのことを踏まえ、ゼロベースで可能性を検討しました。代表理事である私が広告関係の仕事辞め、子どもデザイン教室とファミリーホームに事業を集約し、2016年春にはファミリーホームの物件を決定し、そこを住居として緩やかにファミリーホームを始動させるという計画を立てました。

●ファミリーホームの検証を重ねました。

家庭養護の魅力は泣いたり、笑ったりする普通の暮らしのなかにある小さな、それでいて深い幸福感です。その安定した環境を生み出せる要因は、1対1の養育にあります。1対1であれば子どものわがままを受け入れることができます。また、子どもにとってゆるぎない軸があるので、安心して育つことができます。しかし、これが多くの子どもと暮らすファミリーホームで実現可能なのか？疑問が湧いてきました。その根拠はファミリーホームをされている方々に聞き込みによるものです。お伺いしたファミリーホームの多くは定員に満たず、赤字経営とのことでした。ファミリーホームの委託費は現員払いです。人件費や家賃など固定費が大半のファミリーホーム経営にとって子どもが定員に満たなければ赤字経営になります。そうすると人件費や家賃を捻出するために食費や遊興費を削るといった主客転倒が起こりかねません。子どものためのではなく、運営のためのファミリーホームでは意味がありません。家族にとって子ども同士の関係も重要です。無理をして子どもの人数を揃えても、それが原因で家族関係が崩壊することも考えられます。そう考えると、果たしてファミリーホームは豊かな家庭環境を満たすものなのか？疑問をもつようになりました。

●ファミリーホームを断念しました。

2015年末、ファミリーホームを巡って家族と将来について徹底的に話し合いをしました。その結果「今後も里親を続け、家族一つになっていこう」という結論に至りました。家族の存続を考えた結果です。その結果、誠に残念ながらファミリーホームは中止することにしました。私のミッションは、親と暮らせない子どもたちが「生まれてきてよかった」と思える社会にすることです。その理想形がファミリーホームでした。しかし、ファミリーホームの実情を調べると、経営的に大きな問題を抱えていることが分かりました。ファミリーホームを経営できるのは、社会福祉法人か家族全員が社会的養護をしっかりと理解した家庭に限られます。残念ながら、私の家庭にそれほどの資源はありませんでした。無念さと安堵が交錯しました。

●里親、一緒に居られることの幸せ

3月は私の誕生月です。55歳になりました。家内と娘たちがお祝いの席を用意してくれ、プレゼントをもらいました。お金もないだろうに、一番下のチビまでネクタイをプレゼントしてくれました。みんな色々あるけど、こうして同じときを過ごし、同じごはんを食べるもの同士は、やっぱり家族だと思います。血は繋がっていなくても家族です。こうして一緒に暮らせることの幸せを実感しました。里親のよさはこういう心暖まる時間が共有できることです。正直、ファミリーホームは完全に諦めた訳ではありませんが、今、ひとまずは里親に専念したいと思います。これからも末永くご支援くださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成27年度 決算報告書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室

収入の部		支出の部	
前期繰越金	3,472,795		
1 会費収入		販売費・一般管理費	
会員受取会費	2,082,606	人件費	696,000
		給料手当	30,109
2 事業収入		法定福利費	146,559
子どもデザイン基金事業	980,841	福利厚生費	11,680
		外注費	364,926
3 補助金収入		荷造運賃	7,792
補助金	244,070	広告宣伝費	106,796
		接待交際費	53,843
4 寄付金収入	1,810,740	会議費	36,480
		旅費交通費	106,000
5 その他の収入	7711	通信費	254,733
		販売促進費	7,737
6 営業外収益		消耗品費	1,026,642
受取利息	465	修繕費	170,765
雑収入	28,810	水道光熱費	158,045
		新聞図書費	63,115
		諸会費	15,000
		支払手数料	45,637
		地代家賃	1,052,892
		賃借料	8,500
		諸謝金	6,000
		保険料	37,478
		租税公課	80,807
		寄付金	151,800
		減価償却費	480,524
		支払利息	25,090
今期合計	5,155,243	今期合計	5,144,950
		次期繰越金	3,483,088
合 計	8,628,038	合 計	8,628,038

上記のとおり相違ありません。

平成28年5月23日

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
監 事 今 中 博 之

特定非営利活動法人子どもデザイン教室
代表理事 和 田 隆 博